

2025年度

えびこスマイルキッズ 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月19日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月17日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子ども一人ひとりの人格や自発性を尊重し保育を行うことで、子どもが自らの思いを安心して保育者に伝えることができていた。そのことにより、子ども自身も何事にも楽しく・のびのびと参加する姿がみられた。
子どもの発達援助	子どもたちの発達段階や性格、特性等を全職員で情報共有し、様々な目線で子どもたちを見守る事で、子どもの本当の思いや一人ひとりにあった対応を見つけ出すことができた。そのことにより子どもが安心して過ごしたり、様々なことに自ら挑戦したりすることが出来ていた。
保護者に対する支援	安心感のもと保育園に子どもを預けられるように、子どもの様子や体調の情報共有を密に行い、家庭と保育園の一連の生活を通して子どもや保護者が過ごしやすいよう対応していくことができた。
保育を支える組織的基盤	・市の研修や救命講習を積極的に受けることができた。また定期的に園内研修をおこなうことで、様々な分野での知識を獲得することができ、保育士一人ひとりのスキルアップにつなげることができた。

総評
<p>・今年度は、子ども一人ひとりにあった最善の保育を全職員で話し合いながら試行錯誤し見つけていった。子どもの思いを受容し、共感を大切に保育を行うことで、子どもらしさ・その子らしさを出しながら、のびのびと過ごす子どもたちの姿が見られていた。</p> <p>来年度も子ども一人ひとりに寄り添った保育ができるようにしていきたい。</p>